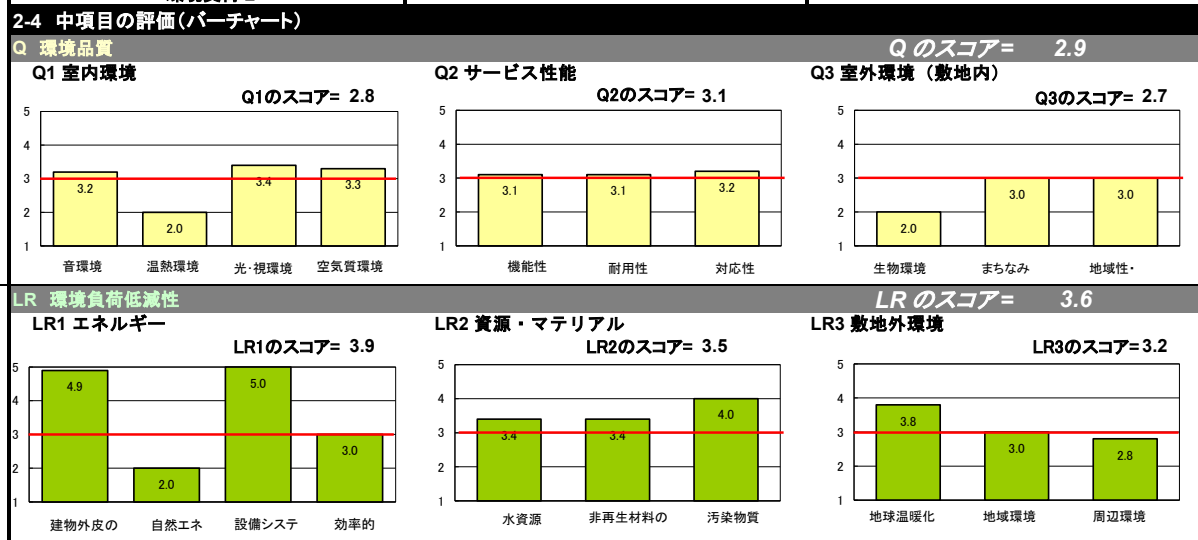
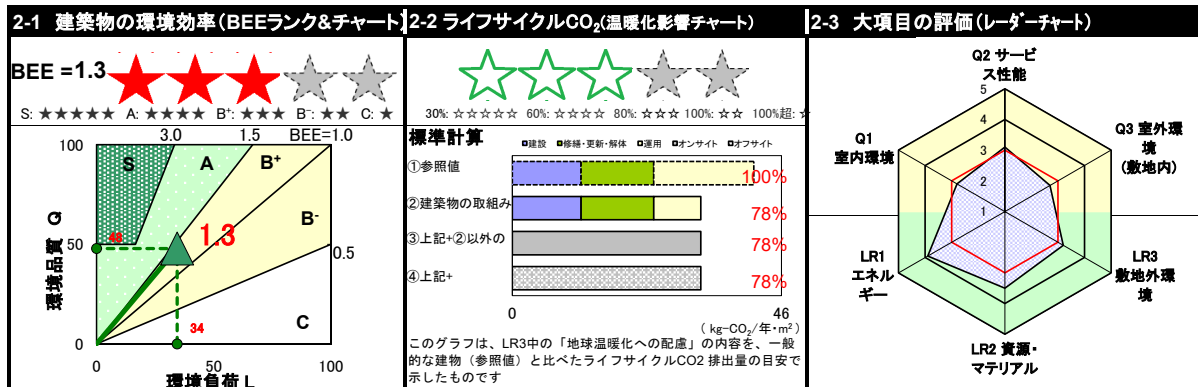


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大里東小学校	階数	地上3階
建設地	愛知県稲沢市日下部町一丁目27番 他28番	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	370 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年2月27日
敷地面積	18,316 m ²	作成者	秋山 由季
建築面積	3,212 m ²	確認日	2025年2月28日
延床面積	7,518 m ²	確認者	横 蒼梧



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.8	2.0
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.2	1.0

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3.1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2.2 耐用性・信頼性、Q-2.3 対応性・更新性

LR-2.2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3.1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
大里東小学校

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体
配慮項目	独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質						0.40			2.9
Q1 室内環境									2.8
1 音環境				0.1	3.2	0.15			3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40			
1.2 遮音			開口部遮音性能T-2	0.4	3.6	0.40			
1 2 1 開口部遮音性能					5.0	0.30			
1 2 2 界壁遮音性能					3.0	0.30			
1 2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.20			
1 2 4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	0.20			
1.3 吸音					3.0	0.20			
2 温熱環境				0.3	2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50			
1 室温				3.0	3.0	0.60			
2 外皮性能				3.0	3.0	0.40			
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-			
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20			
2.3 空調方式				3.0	1.0	0.30			
3 光・視環境				0.2	3.4	0.25			3.4
3.1 昼光利用				0.3	3.0	0.30			
1 昼光率				3.0	3.0	0.60			
2 方位別開口				3.0	-	-			
3 昼光利用設備				3.0	3.0	0.40			
3.2 グレア対策			主要教室カーテン、庇で制御	0.3	4.0	0.30			
1 昼光制御				5.0	4.0	1.00			
3.3 照度			主要教室500Lx以上	3.0	4.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.25			
4 空気質環境				0.2	3.3	0.25			3.3
4.1 発生源対策				0.5	3.0	0.50			
1 化学汚染物質				3.0	3.0	1.00			
4.2 換気			普通教室: 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上	0.3	3.3	0.30			
1 換気量				3.0	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.33			
4.3 運用管理			条例により全館禁煙としている	0.2	4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	5.0	0.50			
Q2 サービス性能					-	0.30			3.1
1 機能性				0.4	3.1	0.40			3.1
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	-	-			
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-			
3 バリアフリー計画	独自			3.0	3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				0.3	3.0	0.30			
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-			
3 内装計画				3.0	3.0	0.50			
1.3 維持管理			防汚性の高い建材を採用している	0.3	3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				0.3	3.1	0.31			3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.2	0.33			
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.23			
2 外壁仕上材の補修必要間隔					2.0	0.23			
3 主要内装仕上材の更新必要間隔			床フローリング30年、壁EP20年、天井化粧石膏吸音ボード30年		5.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水管(VLP)、排水管(VP)、通気管(VP):B以上、Eは不使用		5.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.23			
2.4 信頼性				0.1	3.2	0.19			
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20			
3 電気設備				3.0	3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法			耐震クラスA	3.0	4.0	0.20			
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20			

3 対応性・更新性			0.2	3.2	0.29	-	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			0.3	3.4	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり				3.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	4.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.4	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	3.0	0.30	-	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.81	3.0	4.9	0.30	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用				3.0	2.0	0.20	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.47	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.5
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水				3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.4	0.63	-	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			RC-40(路盤材)	3.0	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			軽量鉄骨下地加え、OAフロアを採用	3.0	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	4.0	0.22	-	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	4.0	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ノンフロン断熱材を採用		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			(1)	ライフサイクルCO2排出率78%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			独自		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	2.8	0.33	-	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自		3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自		-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				0.4	2.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.60	-	-	
2 砂塵の抑制					1.0	0.20	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート
大里東小学校

実施設計段階

■ 使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■ 評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	3.2
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:6.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■ 重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 大里東小学校

計画上の配慮事項	
総合	・室内環境、サービス性能に配慮している。 ・省エネルギー性能に配慮している。
Q1 室内環境	・主要教室カーテン、庇で制御。 ・主要教室500Lx以上。 ・普通教室:自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 ・条例により全館禁煙としている。
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い部品、部材を採用している。 ・耐震クラスAを採用している。 ・壁長さ比率に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	・3階テラス等の中間領域を形成している。 ・防犯カメラ設置。
LR1 エネルギー	・BPI=0.81。 ・BEI=0.47。
LR2 資源・マテリアル	・自動水栓に加え、節水型便器の採用。 ・軽量鉄骨下地に加え、OAフロアを採用。 ・有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用。 ・ノンフロン断熱材を採用。
LR3 敷地外環境	・LCCO2排出率=78%
その他	特に無し。